

各 位

送付書類の説明

平素より大変お世話になっております。

「第4回高校生サイエンス研究発表会」開催に関する書類を送付させていただいております。
ご査収の程、よろしくお願い致します。

書類

1. 開催のお知らせ 校長先生 宛
2. 開催のお知らせ 自然科学系部活動顧問，理科・数学科・情報科教諭 様 宛
3. 開催のお知らせ 総合的な探究の時間担当教諭 様 宛
4. 開催のお知らせ 保健委員会担当教諭 様 宛
5. 開催のお知らせ 家庭クラブ担当教諭 様 宛
6. 別紙様式1（参加申込み）・記入例
7. 別紙様式2（発表要旨）・記入例
8. 部門(研究グループ)・分野一覧
9. 第3回の実施状況／成績

第4回高校生サイエンス研究発表会 2022

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、今回は、オンライン発表会（Zoom 発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
発表対象は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学の研究や開発が対象です。SDGs・地域課題の研究や最先端のデータサイエンス関連の研究にも対応できます。高校生の皆さまには奮って参加していただきたいと思っています。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、貴校教職員（理科・数学科・情報科教員、総合的な学習の時間担当者、保健委員会担当者、家庭クラブ担当者等）へのご案内と生徒の参加について御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom 発表）

- (1) 日程 令和4年3月14日(月)～18日(金)、22日(火)～24日(木)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、K P法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて昨年度の新聞記事、発表会の概要、要旨集を閲覧することができます。



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 日程 令和4年3月21日(月) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
- (2) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281、東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを2つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。なお、昼食は準備します。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(日)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月6日(日)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom 発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。原稿のPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

後援 福岡県高等学校理科部会、神奈川県高等学校教科研究理科部会

7 その他

- オンライン発表（Zoom 発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352）、跡部秀之（内線372）

第4回高校生サイエンス研究発表会 2022

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、今回は、オンライン発表会（Zoom 発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究や最先端のデータサイエンス関連の研究の発表会として開催します。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom 発表）

- (1) 日程 令和4年3月14日(月)～18日(金)、22日(火)～24日(木)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、KP法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて昨年度の新聞記事、発表会の概要、要旨集を閲覧することができます。



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 日程 令和4年3月21日(月) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
- (2) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281、東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを2つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。なお、昼食は準備します。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(日)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月6日(日)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom 発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。原稿のPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

後援 福岡県高等学校理科部会、神奈川県高等学校教科研究理科部会

7 その他

- オンライン発表（Zoom 発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352）、跡部秀之（内線372）

第4回高校生サイエンス研究発表会 2022

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、今回は、オンライン発表会（Zoom 発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究や最先端のデータサイエンス関連の研究の発表会として開催します。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom 発表）

- (1) 日程 令和4年3月14日(月)～18日(金)、22日(火)～24日(木)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、KP法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて昨年度の新聞記事、
発表会の概要、要旨集を閲覧することができます。



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 日程 令和4年3月21日(月) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
- (2) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281、東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを2つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。なお、昼食は準備します。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(日)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月6日(日)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom 発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。
原稿のPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

後援 福岡県高等学校理科部会、神奈川県高等学校教科研究理科部会

7 その他

- オンライン発表（Zoom 発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352）、跡部秀之（内線372）

第 4 回高校生サイエンス研究発表会 2022

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、今回は、オンライン発表会（Zoom 発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究や最先端のデータサイエンス関連の研究の発表会として開催します。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom 発表）

- (1) 日程 令和 4 年 3 月 1 4 日(月)～1 8 日(金)、2 2 日(火)～2 4 日(木)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は 10:00～とします。
- (2) 発表 Zoom による発表と質疑応答（発表 6 分以内、質疑応答 3 分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、K P 法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右の QR コードにて昨年度の新聞記事、
発表会の概要、要旨集を閲覧することができます。



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 日程 令和 4 年 3 月 2 1 日(月) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
- (2) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町 22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室 10281、東京都文京区湯島 3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町 601
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表 6 分間、質疑応答 3 分間）
縦 180cm・横 90cm のスペースを 2 つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。なお、昼食は準備します。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mail により提出してください

- 事務局の第一薬科大学の H P (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>) から別紙様式 1（参加申込）と別紙様式 2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式 1（参加申込）は、2 月 2 0 日(日)までに送信してください。
- 別紙様式 2（発表要旨）は、3 月 6 日(日)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom 発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。
原稿の PDF 等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

後援 福岡県高等学校理科部会、神奈川県高等学校教科研究理科部会

7 その他

- オンライン発表（Zoom 発表）は発表日時の調整とともに Zoom の接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・H P 等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線 352）、跡部秀之（内線 372）

第4回高校生サイエンス研究発表会 2022

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、今回は、オンライン発表会（Zoom 発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究や最先端のデータサイエンス関連の研究の発表会として開催します。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom 発表）

- (1) 日程 令和4年3月14日(月)～18日(金)、22日(火)～24日(木)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、KP法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて昨年度の新聞記事、発表会の概要、要旨集を閲覧することができます。



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 日程 令和4年3月21日(月) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
- (2) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281、東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを2つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。なお、昼食は準備します。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(日)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月6日(日)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom 発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。原稿のPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

後援 福岡県高等学校理科部会、神奈川県高等学校教科研究理科部会

7 その他

- オンライン発表（Zoom 発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352）、跡部秀之（内線372）

通番号		発表題目						研究グループ	
4		○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○						総探	
代表 生徒		生徒氏名(フリガナ)				生徒数	※代表生徒を含む	詳細	
		○○○○○		△△△△△△			5	○○班	
発表日時	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)	21日(月)	22日(火)	23日(水)	24日(木)
希望日	3		2	1					
開始時刻 /発表会場	11:00～		13:00～	13:00～					

発表要旨

部門 (番号) 研究グループに相当します。 部門・分野一覧の部門コード 0001～0010 から選んでください。	分野 (番号) 文部科学省の系・分野・分化・細目表の細目番号 (0101～7504) から 一番当てはまりそうな分野を選んでください。	発表題目 (2 5 文字以内)
学校名		○○○○○○高等学校
研究グループ詳細		サイエンス部化学班等、詳細を記述してください。
研究者氏名		○○○○、○○○○、○○○○、○○○○ ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○
要旨 ※発表しようとしている内容の主要な点を 2 0 0 文字程度にまとめてください。現在、研究中や開発中のものはその旨を明記の上、期待される結果や開発物の特徴を記入して下さい。 例文：我々は、ごみ受けの形状と排水性の関係性を調べ、より効率の良いごみ受けを開発することを目標に研究を行った。研究の結果、最適なおみ受けの穴の形状は、本実験において円形の穴で 3 個が最適。穴の形状が正方形において、大きさは大きすぎても、小さすぎても排水効率が低下した。今後、最も排水効率の良かった円形でも実験を行う。円形も、正方形と同様の結果になることが想定される。ごみ受けを流れる流体の粘度が高いと、排水効率が低下する。		
目的・背景 ※研究や開発の目的（ねらい）、背景または仮説について 2 0 0 文字～ 4 0 0 文字程度記述してください。なお、SDGs に係わる研究や開発の場合は 1 7 の目標（複数可）とともに、その旨記述してください。 例文：浴槽の水やバケツに汲んだ水などを大量に流す際、一緒にごみを流しても排水管の詰まりを防止するごみ受けを付けたままでは、すばやく排水する事ができない。また、近年多発しているゲリラ豪雨による住宅浸水など、身近な日常生活の出来事から災害にまでごみ受けは深く関わっている。そのため、排水効率を少しでも向上させる事で、日常生活を豊かにし、災害を最小限に抑えられる。さらに本実験の結果は水中の現象としてだけでなく、空気中などの様々な流体においても同様の事が言え、社会を豊かにすることができるのではないかと考え本実験を行うこととした。 さらには、SDGs において 11 番「住み続けられるまちづくりを」14 番「海の豊かさを守ろう」を目標として研究を進めた。11 番では、排水効率を向上させることでごみ受けを多くの排水口に設置してもらい、下水道管の劣化や詰りを軽減することができる。14 番では、今日世界中で大きな問題となっているマイクロプラスチックの海洋流出においても、排水効率を向上させることでごみ受けを多くの排水口に設置してもらい、ごみ受けを設置せず排水口に流れ込んでいたプラスチックごみの海洋流出を防止できると考え本実験を行った。		
研究・開発へのパッション ※研究テーマに興味を持った理由、開発テーマへの意気込みや、発表者自身が面白いと思う研究・開発のイチオシポイントを 2 0 0 文字程度で表現して下さい。 例文：ごみ受けの抵抗の主な要因は、穴の外周（断面）部分での抵抗だと考え、穴の面積を大きくして面積当たりの穴の外周部分を小さくすると、排水口の面積当たりの抵抗部分が小さくなり、排水効率は良くなると予想したものの、実験をしてみると穴の大きさがある一定の大きさを超えると、排水効率は悪くなった。この結果から、私たちはごみ受けの抵抗の主な要因は、穴の外周（断面）部分だけでなく、そのほかの要因があると考えた。それは、排水時にごみ受けの上部に発生する渦の存在である。渦が排水口上部に発生した場合、排水される速度が遅くなる。このことから、穴の大きさは小さいと穴の面積当たりの外周部分が大きくなり排水効率は悪くなる。逆に穴の大きさが大きすぎても、穴の上部に渦が発生し排水効率は悪くなることが分かった。		

※ポイントになる図や表があれば別途添付されても構いません。

※様式は事務局 HP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>) よりダウンロードできます。（1月7日(金)以降）

別途作成される場合は Word で作成してください。

※3月6日(日)締切

高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学）跡部宛

E-mail:koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp

発表要旨

部門 (番号)	分野 (番号)	発表題目
学校名		高等学校
グループ名詳細		
研究者氏名		
要旨		
目的・背景		
研究・開発へのパッション		

※ポイントになる図や表があれば別途添付されても構いません。

※様式は事務局 HP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>) よりダウンロードできます。(1月7日(金)以降)
別途作成される場合は Word で作成してください。

※ 3月6日(日) 締切

高校生サイエンス研究会事務局(第一薬科大学) 跡部宛

E-mail:koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp

<部門(研究グループ)・分野一覧>

1001～7504 は文科省科学研究費補助金の「系・部・分科・細目表」からの抜粋です。下記QRコードをスマホ等で読み取って、該当サイト(https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1337808.htm)に入り、各分野の細目まで確認してみて、自分たちの研究や開発がどの分野に最も近いのかを考えてみよう。

部門コード(研究グループに相当します)

- 0001 部活動
- 0002 保健委員会
- 0003 家庭クラブ
- 0004 農業クラブ
- 0005 個人研究
- 0006 課外部門:その他()
- 0007 授業科目(科目名:)
- 0009 総合的な探究の時間(名称:)
- 0010 正課部門:その他()

分野コード(一部を抜粋して載せています。詳しくは HP で確認してください。見つからない場合は空白で構いません)

分科	細目名	細目番号
情報学	情報学基礎	1001
	ソフトウェア	1002
	知能情報学	1005
神経科学	神経科学一般	1101
人間工医学	リハビリテーション科学・福祉工学	1303
健康・スポーツ科学	スポーツ科学	1402
	応用健康科学	1403
生活科学	生活科学一般	1501
	食生活学	1502
環境学	環境影響評価・環境政策	2002
ナノ・マイクロ科学	ナノ材料・ナノバイオサイエンス	2102
社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	2201
	自然災害科学	2202
生物分子科学	生物分子科学	2401
資源保全学	資源保全学	2501
地域研究	地域研究	2601
ジェンダー	ジェンダー	2701
芸術学	芸術学・芸術史・芸術一般	2851
社会学	社会福祉学	3802
心理学	実験心理学	3904
教育学	特別支援教育	4004
数学	数学一般(含確率論・統計数学)	4103
天文学	天文学	4201
物理学	数理物理・物性基礎	4304
	生物物理・化学物理	4306
地球惑星科学	地質学	4404
	層位・古生物学	4405
	岩石・鉱物・鉱床学	4406
基礎化学	物理化学	4601
	有機化学	4602
	無機化学	4603
材料化学	機能材料・デバイス	4801
	有機工業材料	4802
	無機工業材料	4803
	高分子・繊維材料	4804
応用物理学・工学基礎	応用物性・結晶工学	4901
	応用物理学一般	4904
	工学基礎	4905

機械工学	機械材料・材料力学	5001
	流体工学	5004
	熱工学	5005
電気電子工学	電力工学・電力変換・電気機器	5101
	電子・電気材料工学	5102
	電子デバイス・電子機器	5103
	システム工学	5105
土木工学	土木材料・施工・建設マネジメント	5201
	構造工学・地震工学・維持管理工学	5202
	土木環境システム	5206
建築学	建築構造・材料	5301
	建築環境・設備	5302
	都市計画・建築計画	5303
材料工学	金属物性	5401
	無機材料・物性	5402
	複合材料・物性	5403
プロセス工学	化工物性・移動操作・単位操作	5501
	生物機能・バイオプロセス	5504
総合工学	リサイクル工学	5604
	エネルギー学	5607
基礎生物学	生態・環境	5702
	植物分子生物・生理学	5703
	形態・構造	5704
	動物生理・行動	5705
	生物多様性・分類	5706
生物科学	構造生物化学	5801
	機能生物化学	5802
	細胞生物学	5805
	発生生物学	5806
人類学	自然人類学	5901
	応用人類学	5902
農学	育種学	6001
	作物学・雑草学	6002
	植物病理学	6004
	応用昆虫学	6005
農芸化学	植物栄養学・土壌学	6101
	応用微生物学	6102
	応用生物化学	6103
	食品科学	6105
農業工学	農業土木学・農村計画学	6501
	農業環境工学	6502
畜産学・獣医学	畜産学・草地学	6601
	応用動物科学	6602
境界農学	環境農学	6701
	応用分子細胞生物学	6702
基礎医学	環境生理学(含体力医学・栄養生理学)	6903
社会医学	公衆衛生学・健康科学	7102
看護学	基礎看護学	7501
	臨床看護学	7502
	生涯発達看護学	7503
	地域・老年看護学	7504



系・分野・分科・細目表

第3回高等学校生サイエンス研究発表会 報告

発表日 令和3年3月15日(月)～20日(土), 22日(月)～24日(水)

参加校(21校) 123演題

参加校	演題	参加生徒
1 東京学芸大学附属国際育学校	1	1
2 佐賀県立 佐賀西高等学校	6	44
3 佐賀県立鳥栖高等学校	4	14
4 長崎県立大村高等学校	3	7
5 大分県立日田高等学校	9	43
6 宮崎県立宮崎北高等学校	3	9
7 宮崎県立宮崎南高等学校	3	12
8 鹿児島県立鹿児島中央高等学校	3	12
9 鹿児島県立国分高等学校	1	2
10 沖縄県立向陽高等学校	5	16
11 福岡県立糸島高等学校	7	35
12 福岡県立新宮高等学校	8	39
13 福岡県立城南高等学校	25	91
14 福岡県立三池高等学校	2	9
15 福岡県立明善高等学校	4	19
16 福岡県立柏陵高等学校	2	7
17 福岡県立福岡高等学校	5	26
18 福岡県立輝翔館中等教育学校	18	100
19 福岡工業大学附属城東高等学校	7	10
20 福岡第一高等学校	1	1
21 明治学園高等学校	6	13

審査基準

5項目については、3点満点(3点 2点 1点)

■ 課題意識があるか

科学的な視点での疑問や課題感があるか ※新規性、社会的意義を含む

■ 研究へのパッション(熱情)を感じるか

発表者自身の疑問の解明や課題解決への情熱が感じられるか

■ 仮説の検証ができていますか

自ら仮説を立て、その仮説を効率的に検証する実験計画が立てられているか

■ 論理的な考察ができていますか

論理的に導かれた考察か、次の研究計画が立てられているか

■ 新しい発見があるか

結果がクリアに出ているか、周りがその研究に興味を持ち応援したくなるか

最後の項目は、5点満点(5点 4点 3点 2点 1点)

■ 発表全体の印象

最優秀賞 5校

東京	東京学芸大附属 国際中等教育学校	医薬品が植物の成長におよぼす影響
佐賀	佐賀西高等学校	響板の形状と音の増幅量の関係について
大分	日田高等学校	ホワイトウォーター ～水難事故削減のために～
福岡	三池高等学校	認知症について ～今の犬田の状況・よりよく過ごせる環境にするには～
福岡	明善高等学校	食品成分の抗酸化作用についての研究 ～輪ゴムの紫外線劣化を利用した簡易的な測定を通して～

優秀賞 10校

佐賀	佐賀西高等学校	東よか干潟 ～生物相から半世紀の変化を探れ!!～
佐賀	鳥栖高等学校	ジョロウグモはなぜバリアーを作るのか ～バリアーの役割とは～
長崎	大村高等学校	オオキンケイギクの生態
宮崎	宮崎北高等学校	マイクロプラスチックの採集
沖縄	向陽高等学校	靴裏のゴムの効果
福岡	糸島高等学校	長垂山のペグマタイト ～雲母からLi ペグマタイトを探す～
福岡	新宮高等学校	手を清潔に保つには? ～石鹸 vs アルコール～
福岡	城南高等学校	飛行中ドローン周辺の気体の流れについて
福岡	福岡高等学校	ナメクジの忌避学習能力について
福岡	輝翔館中等教育学校	高齢者ドライバーによる交通事故

アイデア賞 3校

鹿児島	鹿児島中央高等学校	未来を変える新しい歩きスマホ!? 振動発電 ～省エネルギー化を目指して～
福岡	城南高等学校	進級過程における教科書の変化
福岡	明治学園高等学校	外来生物「カミヤツデ」の生態系への影響と有効利用法の模索

資料(下記 QR コードにて閲覧できます)



発表会概要



要旨集